



ちばの学童保育

2013年 3月18日発行95号

本号の紙面	
千葉県学童保育研究集会報告	1頁
情勢/ほいく誌紹介	2頁
学童保育所/学ほ誌活動感想	3頁
千葉県指導員学校報告 他案内	4頁

発行者 千葉県学童保育連絡協議会 船橋市本町3-4-3 千葉保育センター内
 TEL047-424-8102 FAX047-424-8108 e-mail chibagakudo@nifty.com

第46回 千葉県学童保育研究集会 報告

講演「子どもたちの生活と学力を考える」渡辺恵津子さん

(元公立小学校教諭 現在大東文化大学准教授)

平成25年2月24日(日)船橋市勤労市民センターホールにて、第46回千葉県学童保育研究集会が開かれました。最近の会場確保が難しいこともあり、今回は全体会のみで午前中行なうことになりました。

はじめに、千葉県学童保育連絡協議会会長の小川貴敏さんより基調報告がありました。国の学童保育予算(案)より「安心こども基金」の活用、千葉県の学童保育の状況や2015年4月1日から政府が実施を目指している「子ども・子育て支援法」についての概要をわかりやすく説明してくれました。

講演のテーマは「子どもたちの生活と学力を考える」。講師は渡辺恵津子さん(元公立小学校教諭 現在大東文化大学准教授)です。小学校の先生であった体験から、色々な子どもたちと接してきた渡辺さん。自己肯定感の少ない子どもたちと今の学校の現状。子どもが自分で考え、行動できる力をつけるためには何をしたらよいか……。一人ひとりの人格を尊重できることが重要であり、子ども時代の豊かな体験から学ぶことが、自己肯定感を育てる。更にこの自己肯定感は様々な価値観の中で育つことから、子どもにかかわる大人として、他の大人たちと繋がりをつくることが大切であると話されていました。最後に子育ては今からでもやり直しができますとのことばに、元気をもらえた講演でした。



学童保育をめぐる最近の動き



2013年2月20日に厚生労働省が地方自治体を集めて国の方針や予算案を説明する全国厚生労働部局長会議が開かれました。

そこで説明された放課後児童クラブの主な改正事項は、下記の内容です。

- ①対象児童は、概ね10歳未満の留守家庭の小学生から「留守家庭の小学生」とし、保護者の就労だけでなく、保護者の疾病や介護なども該当する。
- ②設備及び運営の基準は、従来は無かったが新制度では国が省令で基準を定め市町村で条例を制定する。
- ③市町村の関与については、従来は都道府県に開設後届けるから、事業開始前に市町村へ届ける。
- ④事業の実施の促進について、従来は無かったが市町村の公有財産(学校の空き教室など)の貸付等による事業の推進。
- ⑤費用負担は、消費税の増税実施が条件となるが従来の負担金額に加え、質の改善にかかる費用は別途国が負担する。
- ⑥その他では、市町村子ども・子育て支援事業計画の策定や事業量の見込みや提供体制の確保について法律上に規定する。

特質的な内容では、量の確保と共に質の向上を明確に謳っている点です。

いよいよ25年度4月以降より市町村で「子ども・子育て会議」が開催されます。是非、この会議に参加できるように市町村に働き掛け、より良い学童保育が出来るように努力して下さい。

県連協は、幹事会を通じて各市町村の進捗具合が解るように進めて行きます。各地域の皆様、ご協力願います。

日本の学童ほいく

日本で唯一の学童保育に関する専門誌です。月刊で発行。1冊330円(送料76円)でお届けします。

学童保育に関するありとあらゆる情報が満載。全国で4万人の人が購読しています。



3月号表紙

3月号特集「学童保育施設 みんなで考え、みんなで作る」です。皆さんにもぜひ読んでもらいたい1冊になっています。

- 今回の特集は「学童保育施設 みんなで考え、みんなで作る」です。「よりよい学童保育の施策を求める運動・取り組み」について、保護者や指導員、連絡協議会の実際が投稿されています。「子ども子育て関連三法案」の成立により、国と市町村の学童保育の施策が大きく変わろうとしています。「子どもを見てもらえればそれでいい」などと他人事でいられないほど、学童保育が変わるかもしれません。編集部のご解説を読みながら、活動の大切さを見直し、課題について地域で話し合しましょう。

わたしたちの学童保育所

野田市・福田学童保育所

福田学童保育所は、公設公営の学童保育所です。

福田学童は、学校から子どもの足で歩いて20分ほどの場所にあり、毎日顔を真っ赤にして、「ただいま!つかれたあー!」と帰ってきます。私たち指導員も「おかえり!」と大きな声で迎え入れます。

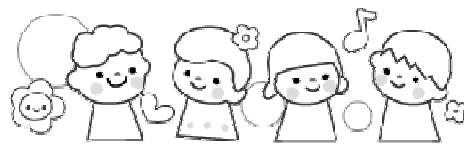
福田学童は、在籍10名ですが、毎日にぎやかに遊んだり、おやつを食べたり、お当番活動をしたりして元気に過ごしています。子どもたちは帰ってくると宿題にとりかかり、終わったとたん元気よく外へ出ていきます。男の子たちはサッカーが大好きで、毎日激しく、時には女の子も加わりながら白熱した様子です。

今の時期は「こま検定」に挑戦中です。初めてこまを練習する1年生はひもを巻くところから一苦労ですが、上級生たちは、ぐんぐん上達して「ひもかけ手のせ」や「どじょうすくい」など難しい技にも挑戦しています。技が進むにつれ、大きな歓声をあげたり、時にはやさしく教えてあげる。そんな一幕もあります。

少人数ならではの、子どもたちはみんなでひとつの遊びをしながら、時々ケンカもしますが、わいわいがやがや仲良く遊んでいます。

私たち指導員も遊びにわりながら、「今日も楽しかった」「安全に過ごせた」と充実し、安心の放課後になるよう保育にあたっています。

「日本の学童ほいく」活動・感想



四街道市学童保育連絡会
保護者 宮田 貴久子

「日本の学童ほいく」は指導員や保護者の悩みを解決するヒントがたくさん詰まっています。

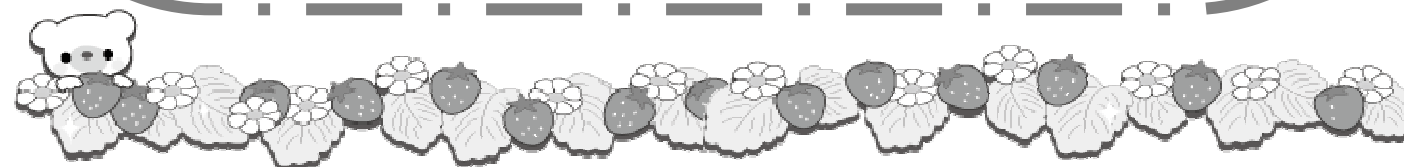
ある記事を読んで、長男が小学校に入学した時の気持ちを思い出しました。地元の友達がほとんどいなかったので、小学校のことや学童のことを聞くことができず、かなり不安でした。最近は地域の活動も昔に比べ少なく、大人も子どもも出会うきっかけが少なくなったように感じます。

忙しい毎日の中で余裕がなく、保護者と指導員も交流することがなかなかできません。何かきっかけがあれば、会話がうまれます。指導員と保護者で「日本の学童ほいく」を読むことを良いきっかけにしましょう。

第32回 千葉県学童保育指導員学校

2012年12月2日(日) 四街道市文化センター 午前講座 10:00~ 午後講座 13:30~

参加者は293名。午前6講座、午後6講座と、一日で多くの講座を受講できるようにしました。内容は、指導員の仕事と役割の基本講座から、遊びの実技など幅広く学習できる講座を開きました。また講座に参加するだけでなく、事前に各地域から代表者が集まり、実行委員会形式で行っているのも、指導員学校の特色です。当日は、各地域から道案内や受付、会場設営、お弁当係などにも協力していただき、充実した指導員学校を開催することができました。「1日で2講座を受講でき、充実した1日だった」との声も多く、これからも意見を出し合いながら、実りある指導員学校を行いたいと思います。今後も、皆様のご協力をお願いします。



第38回 全国学童保育指導員学校

2013年6月2日(日) 大東文化大学(板橋)

現在、小運営委員会で全体講演や分科会についての詳細を、話し合いながら決めています。

詳細が決まりましたら、皆さんへお知らせします。仲間を誘い合って、参加しましょう。